

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会
拠点設置検討部会(第2回) 会議録

日 時	平成 30 年 9 月 7 日 (金) 午前 10 時 30 分から午前 12 時 00 分まで
場 所	グランディエールブケトーカイ 4 階「ワルツ」
出席者 職・氏名	出席委員：7 名（敬称略） 宮地良樹、鬼頭宏、鶴田憲一、中山健夫、松田文彦、宮田裕章、 望月律子 ※宮田委員は web による遠隔参加 欠席委員：1 名（敬称略） 徳永宏司 事務局 県参与 山口重則 健康福祉部部長代理 藤原学 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 健康福祉部理事 土屋厚子 ほか健康福祉部職員
議 題	1 大学院大学の設置検討に向けた需要調査（速報値）について 2 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について 3 その他
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会拠点設置検討部会委員名簿 資料 2 大学院大学の設置に向けた需要調査の実施状況 資料 3 大学院大学の設置に係る基本構想（素案） 資料 4 社会健康医学系大学院大学の基本構想検討資料（基本理念・養成する人材像・ポリシー等） 参考資料 社会健康医学シンポジウム開催案内

1 審議事項

- (1) 大学院大学の設置検討に向けた需要調査（速報値）について
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について

2 審議内容

鈴木健康福祉部理事から、資料 2 により「大学院大学の設置に向けた需要調査の実施状況」について、資料 3 により「大学院大学の設置に係る基本構想（素案）」について、資料 4 により「社会健康医学系大学院大学の基本構想検討資料（基本理念・養成する人材像・ポリシー等）」について、説明した後、各委員による議論を行った。

- (1) 大学院大学の設置検討に向けた需要調査（速報値）について
 - ・速報値ではあるが、大学院大学への興味や必要性に対して 6～7 割と、概ね好意的な回答を得ている。

- ・ 県の社会健康医学の取組についても、引き続き、シンポジウム等を通じて県民へ周知を図っていくべき。

(2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について

- ・ 大学院大学の必要性については、個人的な能力を養うというのではなく、研究成果を県民の健康寿命の延伸に還元できる人材の育成など、より広い視野で記載した方が良い。
- ・ 医療ビッグデータについては、現場の保健指導に役立つ研究として、短期的に成果を出せると思う。
- ・ 授業科目については、公衆衛生の国際標準の5領域を用意すれば、医療専門職のみならず、行政も含めて色々なニーズに応えられる。
- ・ 大学院大学においても、医療現場で不足している臨床遺伝カウンセラーなどの専門職を育成できると魅力が高まるのではないか。
- ・ 大学院大学で育てた若い人材を、社会で受け入れる仕組みも考える必要がある。
- ・ 大学院大学の設置運営主体については、浜松医科大学と静岡大学の統合など県内の動向も視野に入れて検討してもらいたい。